

各位

三神地域農業指導者連絡会作物部会  
三神農業振興センター

「稲作情報（第10号）」について（送付）  
このことについて、下記のとおり送付しますので、業務の参考にして下さい。

## 稲・大豆作情報（第10号）

### 1. 情報田生育調査結果について

#### （1）耕種概要

品種名	夢しずく （上峰町）	ヒノヒカリ （鳥栖市）	さがびより （みやき町）	ヒヨクモチ （神埼市）
移植日（月日）	6月11日 （平年：6/10）	6月23日 （平年：6/20）	6月19日 （平年：6/21）	6月20日 （平年：6/21）
栽植密度（株/m <sup>2</sup> ）	15.7 （52.5株/坪）	18.5 （61.6株/坪）	18.8 （62.6株/坪）	16.8 （55.9株/坪）

#### （2）調査結果（8月31日現在）

品種名	夢しずく	ヒノヒカリ	さがびより	ヒヨクモチ
草丈（cm）				92.9
平年値（平年比）				-(-)
茎数（本/m <sup>2</sup> ）				515
平年値（平年比）	出穂期	出穂期	出穂期	-(-)
葉齢（L）	8/10	8/26	8/31	15.8
平年値（平年比）				-(-)
葉色（SPAD値）				33.0
平年値（平年比）				-(-)

農試データは佐賀県農業試験研究センターのホームページで技術資料〈米づくり情報〉を確認してください。

[佐賀県農業試験研究センター 技術資料](#) 🔍

### 2. 気象及び普通期水稻の生育概況について（9月1日現在）

#### （1）気象（8月22日～8月31日までの期間）

- 【平均気温】平年より0.7℃高い。
- 【日照時間】日年比123%と長い。
- 【降水量】平年比15%と少ない。

#### （2）生育概況

- ・8月5～6半旬にかけては、平年より高い気温で推移し、日照時間は長く推移し、降水量は少なく推移している。
- ・6/10移植の「夢しずく」は乳熟期～糊熟期を迎えている。
- ・「ヒノヒカリ」は8/26に、「さがびより」は8/31に出穂期を迎えている。
- ・「ヒヨクモチ」は、穂ばらみ期となっており、間もなく出穂期を迎える。

### 3. 普通期水稻の今後の管理について（9月1日～）

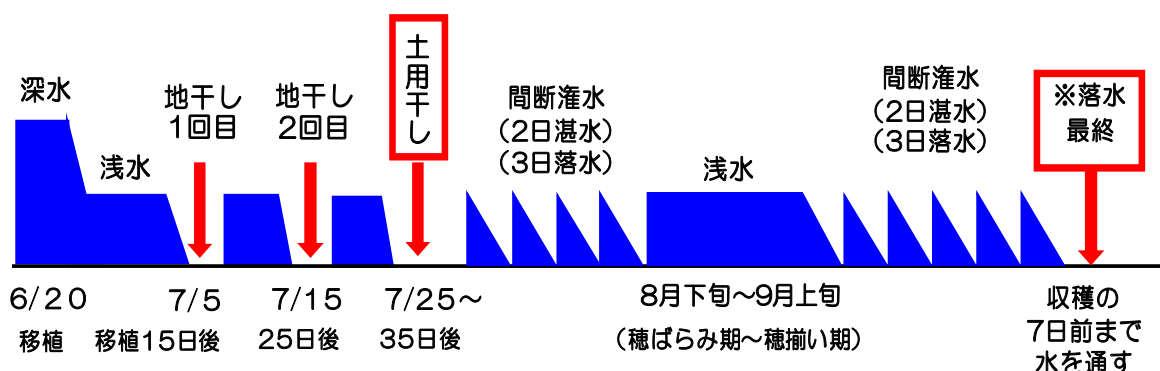
#### （1）水管理

##### ①「夢しずく」の水管理

- ・現在、生育ステージは乳熟期～糊熟期頃となっている。（6/11 移植は 8/10 出穂期）
- ・根の活力維持及び地固めのため、**間断灌水**を継続する。

##### ②「ヒノヒカリ」・「さがびより」・「天使の詩」・「ヒヨクモチ」の水管理

- ・出穂期前後は要水量が最も多いため、穂ばらみ期から出穂後5日まで**湛水**管理を保つ。その後は根の活力維持および地固めのため、**間断灌水**（2日湛水 3日落水程度）に移行する。
- ・「ヒヨクモチ」では穂ばらみ期を迎えており、**止葉**が抽出している。



##### ③台風対策

台風 11 号が 9/5～6 にかけて九州に接近する恐れがあり、進路によっては水稻への影響が懸念されます。

#### <台風通過前対策>

- ・風による稲体の動揺（損傷）を少なくするために深水管理を行いましょう。  
※いずれの品種も、茎葉の繁茂度が高く水分の蒸散量が著しい時期であるので、必ず **深水・湛水**を行って下さい。

#### <台風通過後対策>

- ・**台風通過後は必ず新しい水と入れ替えて、こまめに間断灌水を行う**ことで水稻の根の機能維持及び生育回復に努めて下さい。
- ・台風通過後は受光体制が乱れ、ウンカや白葉枯れ病等が発生しやすくなります。特に、**トビイロウンカの発生には十分注意**し、場合により薬剤防除を実施してください。

#### （2）刈り取りめやす時期について

（別表を参照してください）

#### （3）病虫害防除について

##### ①海外飛来性害虫

- ・現在、ウンカ類（セジロウンカ、トビイロウンカ）は、6月25日頃、7月8日頃、7月19日頃に飛来が確認され、嬉野市のライトトラップでの総捕獲数（6/1～7/20）は、過去10年の中で2番目に多くなっている。
- ・多くの圃場で、ウンカ類（セジロウンカ及びトビイロウンカ）が確認されている。
- ・発生予測は随時更新されるため防除の考え方等については、最新情報を農業技術防除センターのホームページで確認し適期防除に努める。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部  
 〒840 - 2205 佐賀市川副町南里1088  
 TEL (0952)45 - 8153 FAX (0952)45 - 5085  
 Mail [nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp](mailto:nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp)  
 ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiiji00321899/index.html>

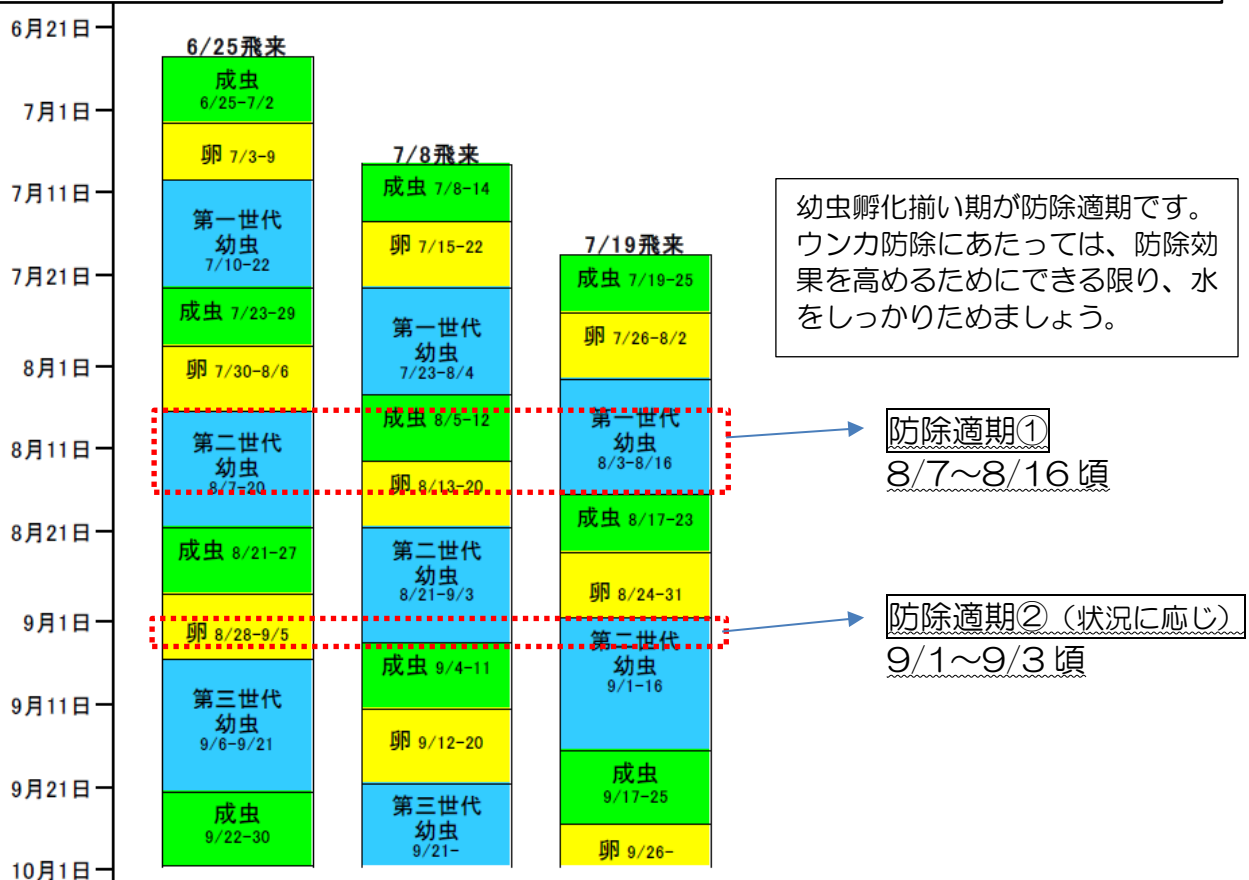


図1 トビイロウンカ各世代の発生予測(第3版、2022年7月20日作成)

② 斑点米カメムシ類について

- 向こう1か月の気象予報(福岡管区气象台：9/3～10/2)によると、九州北部地方では、平年に比べ晴れの日が少ないものの、今後も平均気温は高くなると予想されているため、カメムシ類の発生量は、平年よりやや多いと予測される。
  - 出穂後に畦畔除草をおこなうと水田内に斑点米カメムシ類を誘い込んで被害を助長するので、出穂10日前までに草刈りを済ませ、乳熟期(穂揃い期の約10日後)を中心に薬剤防除を実施する。
- ※被害の常発地帯や多発生が予想される場合は、穂揃い期と乳熟期に薬剤防除を行うと効果的です。



水稻を加害するカメムシ類(8/24：神埼)

表1. 各品種別の草刈り時期と防除時期の目安

品種名	出穂 10 日前	出穂期 (平年)	乳熟期 (平年)
ヒノヒカリ	～8/17 頃まで	8/27	<u>9/8 頃</u>
さがびより	～8/22 頃まで	9/1	<u>9/13 頃</u>
ヒヨクモチ	<u>～8/27 頃まで</u>	9/5	<u>9/17 頃</u>

※出穂期(平年)は、三神管内における情報田のデータの平均値

### ③ いもち病

- 現在、三神管内において、葉いもち及び穂いもちの発生が増加しており、一部では多発生となっている圃場もみられる。
- 本田で新たな病斑の発生が認められたら臨機防除を検討し、特に、上位葉に進展型病斑が見られる場合、早急に防除を実施する。
- これから出穂を迎える圃場において、葉いもちの発生がみられる圃場では、穂ばらみ後期（出穂期5日前）での穂いもち防除を徹底する。さらに、穂いもちの多発生が予想される場合には、穂揃い期（出穂期5日後）にも防除を実施する。

	穂いもち 防除適期		止 葉 出 葉	穂 ば ら み	後 期 出 穂	出 穂 期	穂 揃 期	乳 熟 期		
			-15	-10	-5	0	+5	+10	+15	+20
粉剤・ 液剤	並発生 多発生			←→	←→		←→			
粒剤	並発生と予想される場合：出穂2～3週間前 多発が予想される場合：葉いもちの初発時と、出穂期の体系防除を実施する。									

### ④ 紋枯れ病

- 多くの圃場で紋枯れ病の発生を確認している。
  - 高温多湿条件が続くと、紋枯れ病が進展する恐れが高まるので、病斑が確認される場合は、上位葉の葉鞘に進展（垂直進展）する時期に防除を行う。
- ※出穂の10～20日前が防除適期であるが、今後、病斑の上位葉進展が確認される場合は、農薬の使用時期に注意して防除を検討する。

※高温多湿条件が続いていることから、いもち病や紋枯れ病などの発生が多くなっています。ウンカ類の防除と併せて、病気の防除を計画しましょう。



紋枯れ病の病斑（ヒヨクモチ）



いもち病の病斑

## 4. 大豆の今後の管理について

### 1) 大豆の生育状況

播種期が6月下旬～7月下旬にかけて幅広いため、播種期により圃場間で生育格差が見られる。生育ステージは、6月下旬頃播種が莢伸長期、7月上旬頃播種が開花末期～若莢期、7月中旬頃播種が開花期となっている。

### 2) 今後の管理

- ・台風の接近及び秋雨前線に伴い、今後も降雨が懸念されるため泥水や雨水が早く退水するように排水路を整備する。
- ・台風通過後、9月中旬頃までを目途に速効性肥料を窒素成分で4～8 kg/10a 施用すると生育の回復に効果が期待できる。

◎ 肥料の施用例（窒素成分で4kg/10aの場合）  
硫酸の場合 → 20kg、尿素の場合 → 10kg



莢伸長期の大豆（8/31：鳥栖）

### 3) 除草剤について

#### ○生育期処理

- ・雑草の発生が多い圃場では、雑草の発生に応じて生育期の茎葉処理剤を散布する。  
〔イネ科雑草：ポルトフロアブル（雑草10葉期まで、大豆収穫30日前まで）  
広葉雑草：アタックショット乳剤等（大豆開花期前まで）〕
- ・アサガオ類・ホオズキ類の難防除雑草がすでに圃場内に発生している場合は、雑草の開花や結実前までの茎葉処理除草剤のスポット散布や手取りによる防除を実施する。

### 4) 病害虫防除（ハスモンヨトウ、カメムシ類）

- ・農業技術防除センターの病害虫発生予察情報（8/26：第6号）によると、9月の予想発生量（平年比）は、**ハスモンヨトウが「並み」、カメムシ類が「多」と**予測されている。
- ・天候が高温少雨で経過した場合、ハスモンヨトウの増殖に伴う被害拡大が懸念されるため、フェロモントラップの捕殺数や白変葉の増加に注意する。
- ・ハスモンヨトウの防除適期は、若令幼虫による白変葉が見られ始めた頃であり、防除が遅れ中令幼虫以上（体長約2cm以上）になると、防除効果が低下する。
- ・防除後約3日経過した後も高い密度で食害を続けている時は、再防除が必要となる。
- ・カメムシ類の防除適期は、莢の伸長初期から子実肥大中期であるため、圃場での発生状況を確認し、遅れないように防除を実施する。なお、発生が多い圃場では、7～10日間隔で2～3回防除を行う。



散見されるカメムシ類（8/31：鳥栖）

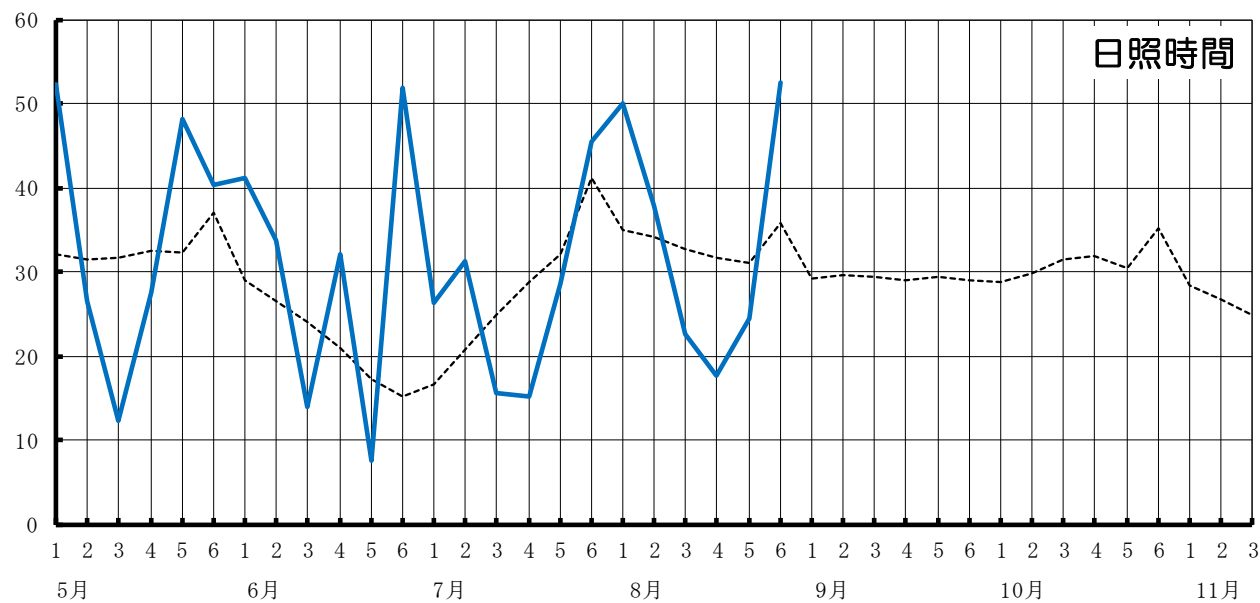
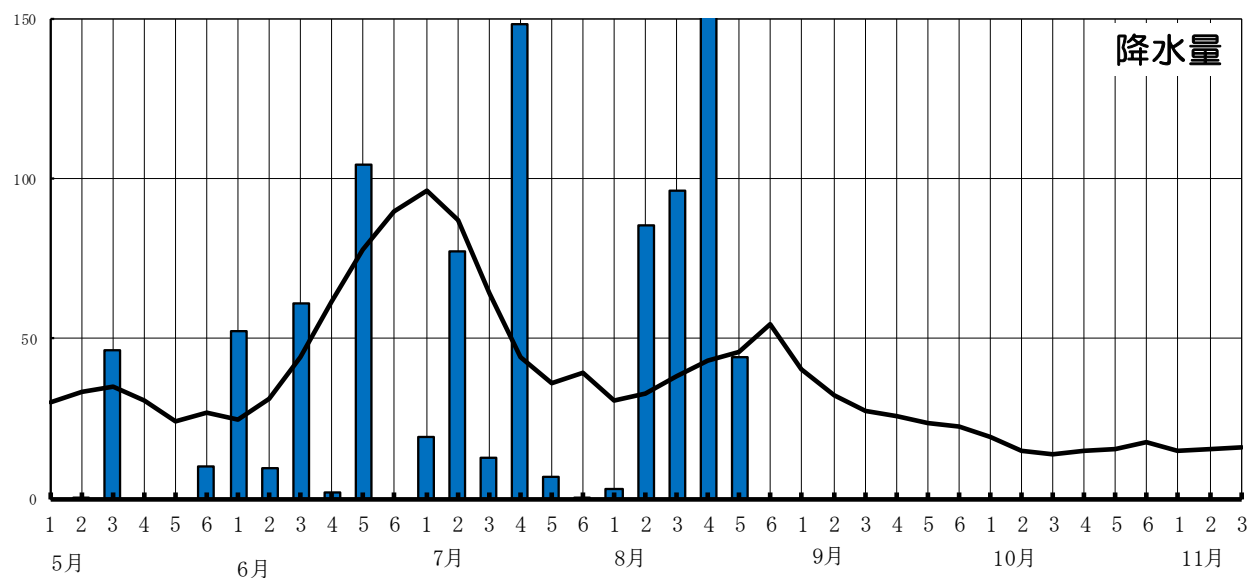
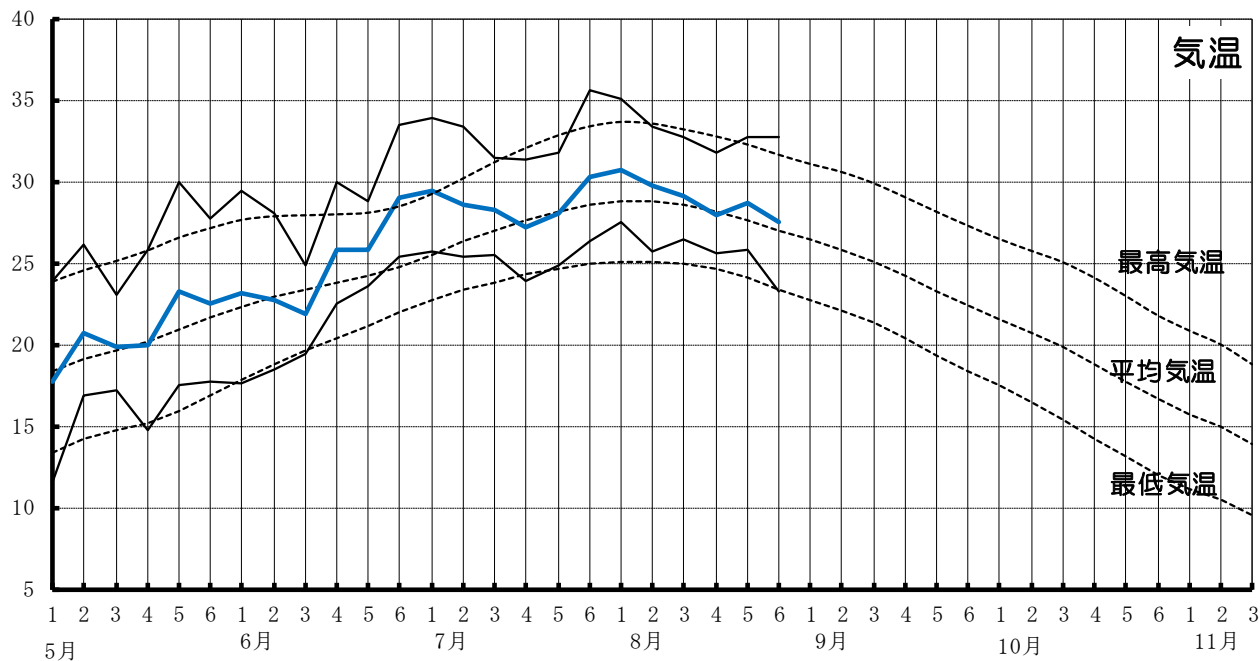


ハスモンヨトウ（①若令幼虫の集団、②白変葉（若令幼虫の集団による食害）、③中-老令幼虫）  
（平成22年撮影）

圃場毎に発生状況を確認し、適期防除を実施してください

# 令和4年産水稲生育期間気象グラフ（アメダス：佐賀）

三神農業振興センター



令和4年産 収穫期予想積算表(アメダス観測地, 佐賀)

三神地域農業指導者連絡会作物部会  
令和4年9月1日 現在

(積算気温による収穫適期の目安)

月	日	平均気温		夢しずく 900~1150℃				ヒノヒカリ 900~1050℃				ヒヨクモチ 950~1150				
		平年	本年	8/10	8/12	8/14	8/16	8/22	8/24	8/26	8/28	9/3 (仮定)	9/5 (仮定)	9/7 (仮定)	9/9 (仮定)	
8	10	28.7	30.3	出穂期												
	11	28.6	30.3	30												
	12	28.6	27.9	58	出穂期											
	13	28.5	27.9	86	28											
	14	28.5	30.1	116	58	出穂期										
	15	28.4	29.4	146	87	29										
	16	28.3	27.5	173	115	57	出穂期									
	17	28.2	25.5	199	140	82	26									
	18	28.1	27.3	226	168	110	53									
	19	28.1	29.1	255	197	139	82									
	20	28.0	30.4	285	227	169	112									
	21	27.9	29.2	315	256	198	142									
	22	27.8	29.7	344	286	228	171	出穂期								
	23	27.6	29.7	374	316	258	201	30								
	24	27.5	27.1	401	343	285	228	57	出穂期							
	25	27.4	27.7	429	371	313	256	85	28							
	26	27.3	26.2	455	397	339	282	111	54	出穂期						
	27	27.2	26.3	481	423	365	308	137	80	26						
	28	27.1	26.2	508	449	391	334	163	106	53	出穂期					
	29	26.9	27.4	535	477	419	362	191	134	80	27					
	30	26.8	29.4	564	506	448	391	220	163	109	57					
	31	26.7	29.6	594	536	478	421	250	193	139	86					
	9	1	26.6		621	562	504	447	276	219	166	113				
		2	26.5		647	589	531	474	303	246	192	140				
		3	26.4		673	615	557	500	329	272	218	166	出穂期			
		4	26.3		700	642	584	527	355	299	245	192	26			
		5	26.2		726	668	610	553	382	325	271	218	53	出穂期		
		6	26.0		752	694	636	579	408	351	297	244	79	26		
		7	25.9		778	720	662	605	434	377	323	270	104	52	出穂期	
		8	25.8		804	745	687	631	459	403	349	296	130	78	26	
		9	25.7		829	771	713	656	485	428	374	322	156	103	52	出穂期
10		25.5		855	797	739	682	511	454	400	347	181	129	77	26	
9	11	25.4		880	822	764	707	536	479	425	373	207	154	102	51	
	12	25.3		906	847	789	732	561	504	451	398	232	180	128	76	
	13	25.1		931	872	814	758	586	530	476	423	257	205	153	101	
	14	24.9		956	897	839	782	611	554	501	448	282	230	178	126	
	15	24.8		980	922	864	807	636	579	525	473	307	254	203	151	
	16	24.6		1005	947	889	832	661	604	550	497	332	279	227	176	
	17	24.4		1029	971	913	856	685	628	574	522	356	303	252	200	
	18	24.2		1054	995	937	880	709	652	599	546	380	328	276	224	
	19	24.0		1078	1019	961	904	733	676	623	570	404	352	300	248	
	20	23.8		1101	1043	985	928	757	700	646	594	428	375	324	272	
	21	23.6		1125	1067	1009	952	781	724	670	617	452	399	347	296	
	22	23.4		1148	1090	1032	975	804	747	693	641	475	422	371	319	
	23	23.3		1172	1113	1055	999	827	771	717	664	498	446	394	342	
	24	23.1		1195	1137	1079	1022	850	794	740	687	521	469	417	365	
	25	22.9		1218	1159	1101	1045	873	817	763	710	544	492	440	388	
	26	22.7		1240	1182	1124	1067	896	839	785	733	567	514	463	411	
	27	22.6		1263	1205	1147	1090	919	862	808	755	590	537	485	434	
	28	22.4		1285	1227	1169	1112	941	884	830	778	612	559	508	456	
	29	22.2		1308	1249	1191	1134	963	906	853	800	634	582	530	478	
	30	22.1		1330	1271	1213	1157	985	929	875	822	656	604	552	500	
10	1	21.9		1352	1293	1235	1178	1007	950	897	844	678	626	574	522	
	2	21.7		1373	1315	1257	1200	1029	972	918	866	700	647	595	544	
	3	21.6		1395	1337	1279	1222	1051	994	940	887	721	669	617	566	
	4	21.4		1416	1358	1300	1243	1072	1015	961	909	743	690	638	587	
	5	21.2		1437	1379	1321	1264	1093	1036	982	930	764	712	660	608	
	6	21.1		1459	1400	1342	1285	1114	1057	1004	951	785	733	681	629	
	7	20.9		1479	1421	1363	1306	1135	1078	1024	972	806	754	702	650	
	8	20.7		1500	1442	1384	1327	1156	1099	1045	993	827	774	722	671	
	9	20.6		1521	1463	1405	1348	1176	1120	1066	1013	847	795	743	691	
	10	20.4		1541	1483	1425	1368	1197	1140	1086	1034	868	815	763	712	
	11	20.2		1561	1503	1445	1388	1217	1160	1106	1054	888	835	784	732	
	12	20.0		1581	1523	1465	1408	1237	1180	1126	1074	908	855	804	752	
	13	19.8		1601	1543	1485	1428	1257	1200	1146	1094	928	875	823	772	
	14	19.6		1621	1563	1505	1448	1276	1220	1166	1113	947	895	843	791	
	15	19.4		1640	1582	1524	1467	1296	1239	1185	1133	967	914	862	811	
10	16	19.2		1659	1601	1543	1486	1315	1258	1204	1152	986	933	882	830	
	17	19.0		1678	1620	1562	1505	1334	1277	1223	1171	1005	952	901	849	
	18	18.8		1697	1639	1581	1524	1353	1296	1242	1190	1024	971	919	868	
	19	18.6		1716	1658	1600	1543	1371	1315	1261	1208	1042	990	938	886	
	20	18.4		1734	1676	1618	1561	1390	1333	1279	1227	1061	1008	956	905	
	21	18.2		1752	1694	1636	1579	1408	1351	1297	1245	1079	1026	975	923	
	22	18.0		1770	1712	1654	1597	1426	1369	1315	1263	1097	1044	993	941	
	23	17.7		1788	1730	1672	1615	1444	1387	1333	1281	1115	1062	1010	959	
	24	17.5		1806	1747	1689	1632	1461	1404	1351	1298	1132	1080	1028	976	
	25	17.3		1823	1765	1707	1650	1479	1422	1368	1315	1149	1097	1045	994	
	26	17.1		1840	1782	1724	1667	1496	1439	1385	1332	1167	1114	1062	1011	
	27	16.9		1857	1799	1741	1684	1513	1456	1402	1349	1183	1131	1079	1028	
	28	16.7		1874	1815	1757	1700	1529	1472	1419	1366	1200	1148	1096	1044	
	29	16.5		1890	1832	1774	1717	1546	1489	1435	1383	1217	1164	1112	1061	
	30	16.3		1906	1848	1790	1733	1562	1505	1451	1399	1233	1180	1129	1077	
	31	16.1		1922	1864	1806	1749	1578	1521	1467	1415	1249	1197	1145	1093	

＜収穫のポイント＞

- ・積算表はあくまで目安です。気温が高く推移すれば予想より早まり、気温が低く推移すれば予想より遅くなります。圃場での熟れ具合を確認したうえで、収穫日を決定してください。
- ・早期落水は充実不足による「ヤセ米」や「屑米」・「死米」が発生しやすく、品質低下の原因となりますので、必ず間断灌水を実施して根の活力維持に努めてください。
- ・コンバイン収穫では、麦などの異種穀粒や異物が混入しないように清掃点検を行いましょう。
- ・籾水分が高い時は、収穫後できるだけ速やかに通風・乾燥を行いましょう。
- ・一時堆積中の時間が長いと、籾の温度が高くなりヤケ米が発生しやすくなります。穀温が高くなり、熱く感じられるときはヤケ米が発生してしまいます。

＜収穫適期の目安＞

◎ 籾水分 2.9%以下

- ・穂軸の先端(穂先)から1~2cmが枯れ、穂元の青籾が5~7粒残っている状態で、籾をツメで押してもつぶれなくなった時です。
- ・収穫は、穀粒水分3.0%以下に低下してから始まります。籾水分2.7~2.8%の頃が刈り取りの中心となり、籾水分2.5%未満(積算気温で1,150度以上)になると、刈遅れによる品質低下が目立ってきます。
- ・早刈りは、玄米の充実不足による「青未熟粒」や「死米」が発生しやすくなります。「青未熟粒」が多いと食味が劣り、また、収量も低下しますので、早刈りは避けましょう。
- ・遅刈りは、「胴割米」や「茶米」「穂発芽粒」が発生しやすくなり、品質低下の原因となりますので刈遅れとならないように注意してください。

